

# 竹田水害緊急治水ダム建設事業

## たま らい 玉来ダム

(一級河川大野川水系玉来川)



玉来ダム完成イメージ図

大分県玉来ダム建設事務所

### 玉来ダム建設について

玉来ダムは、大分県竹田市大字志土知（左岸）、大字川床（右岸）地先の一級河川大野川水系玉来川に建設する治水ダムです。

玉来川が位置する竹田市は、西に阿蘇の外輪山、北にくじゅう連山、南に祖母・傾山系と三方を山に囲まれており、その中心部にあたる竹田市街地は、河川が扇の要のように集中する特異な地形を有しています。

そのため、市街地を貫流する玉来川と稲葉川は、梅雨期を中心に度々その流域に洪水被害をもたらしてきました。昭和40年から治水対策として局部的な河川改修を実施してきましたが、昭和57年7月の集中豪雨及び平成2年7月の梅雨前線豪雨では、それぞれ死者7名と死者5名が発生し、ともに多くの家屋や農地が浸水被害を受けたほか、交通機関の断絶等により長期間にわたり都市機能が麻痺するなど、住民生活に多大な影響を及ぼしました。

この2度の水害を契機に、竹田市街地上流に稲葉ダムと玉来ダムの2つのダムを建設する「竹田水害緊急治水ダム建設事業」が平成3年度に事業採択され、河川改修とダム建設を組み合わせた治水対策を行うことになりました。

これまでのところ、玉来川・稲葉川の河川改修は平成12年度に完了し、稲葉ダムは平成22年度に完成し、一定の治水効果を挙げているものの、玉来川流域においては、平成24年7月の九州北部豪雨により再び死者2名を出すなど、またしても甚大な被害が発生してしまいました。

以上のことから、竹田市街地をこのような洪水から守るために、玉来ダムの早期完成が求められています。



昭和57年7月出水の状況  
(稲葉川 竹田橋付近)



平成2年7月出水の状況  
(稲葉川 豊岡橋付近)



平成2年7月出水の状況  
(玉来川 常盤橋付近)



平成24年7月出水の状況  
(玉来川 桜瀬橋付近)



平成24年7月出水の状況  
(玉来川 竹田市文化会館付近)

### 玉来ダムの役割

玉来ダムは、洪水調節を目的とした治水専用ダムです。

基準地点常盤橋において、玉来川での戦後最大の洪水となった平成2年7月洪水時の基本高水のピーク流量1,650m<sup>3</sup>/sから280m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行い、計画高水流量1,370m<sup>3</sup>/sまで低減することで竹田市街地を洪水から守ります。

#### ■計画高水流量配分図

[ ]基本高水流量 < >最大放流量

